広報
さめがわ

昭和58年
5月号
No. 353
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

ふりそそぐ5月の陽光・もえ立つ緑の大地



明るい5月の陽光が暖かくふりそそぐところ、阿武隈山系は一斉に若草が丈をのばし、木々の芽がほぐれ、大自然のエネルギーが緑の炎をあげて燃えたつ季節となりました。

せまい牛舎で冬をすごした牛たちも広々とした放牧場に解放され、思うまゝに牧草を食み、心ゆくまで日光浴をたのしんでいます。

上昇した気温に急かれて水稲の苗も伸びすぎが心配される程で、早くも機械による田植が初まりました。

今年こそ冷害を返上して、豊かな秋の稔りを期待したいものです。

5月1日～31日　赤十字運動月間
5月1日～31日　児童福祉月間
5月20日　少年を非行から守る日

今月の人口
（5月1日現在）

		前月比
人口	5,579	（＋6）
男	2,765	（＋9）
女	2,814	（－3）
世帯	1,135	（＋9）

村民保養施設さぎり荘
送迎バスを運行します

四月一日から村で運営している村民保養施設「さぎり荘」では、これを利用される方の便宜を図るため、五月二〇日から次の要領でマイクロバスを運行して、利用者の送迎をすることになりました。

◆送迎バスの使用は一般村民の方で、概ね一〇名以上の団体であれば使用できます。送迎バスの使用料は無料です。

◆使用許可は、さぎり荘使用許可申請の際に、併せてバス使用許可申請書を出して許可を受けて下さい。バスの使用時間は午前九時三〇分から午後四時までです。

詳しいことは、電話でさぎり荘にお尋ね下さい。（電話九ー二二〇五）



5月20日から運行する送迎バス

村政の歩み (1)

ごあいさつ

村長　石田卯子八



このたび行われた全国統一地方選挙は、四月二四日に町村段階の投票が終り、新しい任期に入る首長、議員がそれぞれ選出されました。

私は今回無投票で、重ねて村政を担当させて頂くことになりました。ここに改めて初心に帰り、感激も新に、住民皆様のご厚志とご期待の重さを痛切に感じております。

地方自治が多くの困難を予測される時に当り、一層の精励を加えて努力する決意であります。

今次の統一地方選挙は、先年来臨時行政調査会の打出している行政改革、財政再建の嵐の中で、これからの地方自治体が容易でない時期に入るという認識があり、住民の関心もこれに集中した感がありました。

四年前の選挙で盛んに論議された「地方の時代」という夢も色あせて、中央も地方も如何にして財政を効率化して、行政水準を維持向上するかに創意工夫と最大の努力を求められる時代に入ったわけであります。

この時、わが村では村議会議員の選挙が行われ、議員定数が二名削減されて一六名となった事情もあり、いわゆる少数激戦の様相を呈し、投票率は九七・九六％の高率を示しました。

有権者皆様の厳正な審判の結果、再任一〇名新任五名元一名の議員が当選されました。

経験に富む練達の再任議員が多数を占め、これに新進気鋭の活力ある新任議員を加えて、一段と活発な議会活動が期待されることはよろこびにたえません。

議会は住民の一体的な代表機関であり、最高の意志決定機関であります。その本質的な役割と機能を、この困難な時期にこそ十分発揮して頂くことが、住民の願いであり、要請であると思われます。

また、執行機関と議決機関は地方自治運営の車の両輪であります。互にその権限と責任を尊重しながら、共通の目標である村政の発展と村民の福祉のため全力をつくさなければなりません。

住民皆様のご理解ご協力の更に深厚なることを希いつつ明るく豊かな魅力ある郷土、道義と文化の香り高い村づくりに、新なる決意と精励を加えて進むべきことをお誓いして、ごあいさつといたします。

今月の納税

固定資産税（第一期分）
納期限　五月二五日

心配ごと相談

五月二〇日（金）
午前一〇時～午後二時
山村開発センター

おめでた

三月
薄ケ久保　高木　弘美　父高木一一

四月
中内　中川西恵子　父中川西吉典
新宿　大池麻祐子　父大池義圀
広畑　鈴木　喜幸　父鈴木喜芳
取上　湯座　智浩　父湯座一男
酒垂　鈴木　芳枝　父鈴木徹男
下　木之内　彰　父木之内満男

おくやみ

四月　年齢　世帯主
中澤　根本　シゲ69歳根本幸一
滝平　円井　富宣48歳円井キシ
辺栗　生田目クニ71歳生田目義也

届出順・氏名・年齢・党派・新現元別・当選回数

統一地方選挙

村議会議員決まる

投票率は九七・九六％

任期満了に伴う村議会議員選挙の投票は四月二四日に行われ、有権者の厳正な審判の結果、一六人の当選者が決まりました。

今回の選挙は、議員定数が一八人から二人減の一六人となり、これを一七人で争う選挙戦となりました。

投票は、午前七時から午後六時まで村内八か所で行われ、開票は農業者トレーニングセンターで午後七時から、参観者約六〇〇名が見つめるなかで進められました。

有権者の関心は高く、投票率は男九七・五六％、女九八・三三％、計九七・九六％となり、前回の選挙よりは〇・二三％下廻りました。

当選者は、現議員が一〇人、新議員が五人、元議員一人で、党派別では日本共産党が一人、無所属が一五人です。

また年代別では四〇代が二人、五〇代が一〇人、六〇代が四人で、平均年齢五五・八歳の構成となっています。

当選された方の当選証書附与式は、四月二五日役場会議室で行われ、蛭田正選挙管理委員長から当選者一人毎に当選証書が贈られました。



鈴木　公義氏（68歳）
無所属　現　③



湯坐　清男氏（54歳）
無所属　現　②



蛭田　一氏（51歳）
無所属　現　④



関根　勝義氏（45歳）
日本共産党　現　③



森　康氏（54歳）
無所属　新　①



宗田　悦次氏（53歳）
無所属　現　②



前田　正男氏（69歳）
無所属　現　②



船木　彦助氏（45歳）
無所属　新　①



宗田　貞治氏（63歳）
無所属　現　②



芳賀　喜一氏（56歳）
無所属　現　④



石井　利雄氏（51歳）
無所属　新　①



大楽　勝男氏（67歳）
無所属　現　⑤



根本　傳氏（55歳）
無所属　元　②



本郷　貢氏（55歳）
無所属　新　①



藤田　一夫氏（52歳）
無所属　現　③



遠藤慎一郎氏（55歳）
無所属　新　①

村議会議員選挙投票結果表

投票区	当日有権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計
鮫川	536	571	1,107	98.32	98.42	98.37
西野	303	307	610	98.02	97.72	97.87
西山	295	317	612	98.98	98.74	98.86
富田	169	177	346	97.63	97.74	97.69
渡瀬	253	265	518	95.65	98.49	97.10
青生野	151	155	306	95.36	97.42	96.41
戸草	86	86	172	95.35	100.00	97.67
大房	95	102	197	97.89	99.02	98.48
計	1,888	1,980	3,868	97.56	98.33	97.96

新議会の構成決まる

議長に芳賀喜一氏
副議長に蛭田一氏再選

改選後初の臨時村議会は、五月六日午前一〇時に招集され、新しい議会の構成が決まりました。

選挙の結果、議長に芳賀喜一氏、副議長に蛭田一氏がそれぞれ再選され、常任委員会の構成は次のおりとなりました。

◇総務常任委員会

委員長　大楽勝男
副委員長　遠藤慎一郎
委員　前田正男
委員　石井利雄
委員　蛭田一
委員　芳賀喜一

◇厚生文教常任委員会

委員長　藤田一夫
副委員長　関根勝義
委員　湯坐清男
委員　船木彦助
委員　宗田悦次

◇経済建設常任委員会

委員長　鈴木公義
副委員長　根本伝
委員　宗田貞治
委員　森康
委員　本郷貢

監査委員に
遠藤慎一郎氏

監査委員は議員の中から一名、村長が議会の同意を得て選任する地方自治法の規定に従い、今回は遠藤慎一郎議員が全会一致の同意で選任されました。



就任のごあいさつ

議長　芳賀喜一

このたび、再度議長の要職につくことになりました。

私は自らの浅学非才を顧みまして、責任の重さを一層痛感しておりますが、ここに選ばれましたうえは、過去の経験を生かし、住民の立場に立った議会機能の向上を図ると共に、村政の進展のため、懸命の努力を傾注する考えであります。

本村議会はその機能の伸長と住民の福祉向上を目指して着実な歩みを続けてまいりましたが、時代のすう勢とともに多様化する住民の要請にこたえるためには、今後更に一層の努力を要するものと考えます。

皆様の格別のご指導とご協力をお願いし、就任のごあいさつといたします。

交通指導隊発足
隊員に須藤宏さんら4名

安全協会倉支部棚

多発する交通事故の防止策として、郡内四町村で組織されている交通安全協会棚倉支部内に、交通指導隊が発足しました。

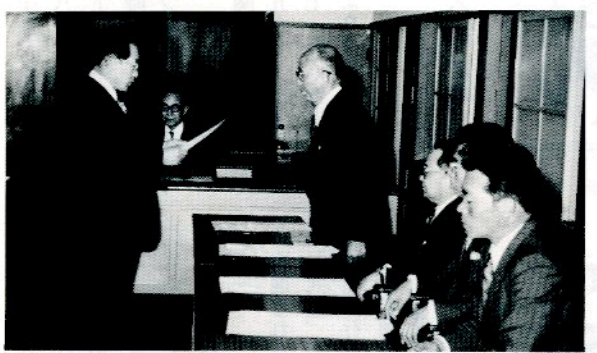
発隊式は五月六日棚倉警察署会議室で行われ、郡内の一一分会から選出された三七名の方々が隊員に委嘱されました。

交通指導隊は、それぞれ選出された分会内で、毎月一日・一五日の交通安全の日、各季の交通安全運動期間中に街頭指導等を通じて活動します。

鮫川村から交通指導隊員に委嘱された方は次のとおりです。

▽副隊長　須藤宏（新宿）
▽隊員　山形郁夫（上耕地）
▽〃　矢吹一男（真坂）
▽〃　関根啓太郎（余所内）

新しい議員さんに当選証書附与





4月24日の選挙で当選された新しい任期の村議会議員さん16名に、蛭田正選挙管理委員長から当選証書を附与する式が25日午後2時から役場会議室で行われました。

議員さんたちは激戦のつかれも見せずお元気で、一人づつ証書を受取られ、終って石田村長からお祝のことばがありました

ヤマメの稚魚を放流
鮫川水系に二万五千匹


鮫川に元気なヤマメの稚魚が放流される

鮫川漁業協同組合、鮫川村水産資源保護協会（会長岡部伝）では、鮫川に魚族の繁殖を図るため、四月一二日にヤマメの稚魚約二五、〇〇〇匹を放流しました。

このヤマメは、昨年秋ふ化したばかりの体長5～7㎝ぐらいのもので、村内鮫川水系の一〇か所に放流されました。

また、これと合わせて次の場所が禁漁区に設定されました。

禁漁区域及び期間

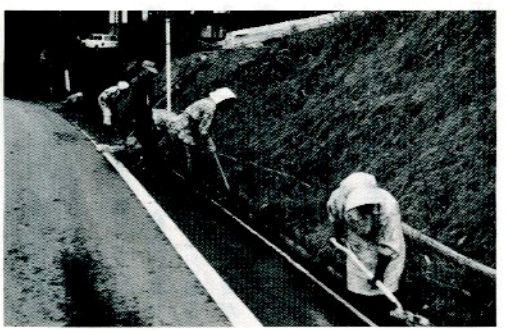
【鮫川本流】
▽辺栗地内（落合川合流点）から上流前田橋まで＝昭和五八年四月一二日から昭和六一年三月三一日まで
▽新宿地内（国鉄バス発着場）山口堰から、上流壇ノ岡橋（診療所入口）まで＝昭和五八年四月一日から永久
▽巡ケ作地内（富田川合流点）から上流全域（戸草川、中沢川）＝昭和五八年四月一日から昭和六一年三月三一日まで

【渡瀬川】
▽渡瀬地区日ノ沢橋から上流関下（関口川合流点）まで＝昭和五八年四月一日から昭和六一年三月三一日まで
▽青生野地区丸谷地地内から上流大犬平橋まで＝昭和五八年四月一日から昭和六一年三月三一日まで

※禁漁区域外の河川で釣りをするときは鑑札（遊漁券）が必要です。鑑札は次の取扱所でお求めください。

◇鮫川水系
高木　正則宅（新宿）
舟木　忠光宅（広畑）

◇久慈川水系（渡瀬川含む）
芳賀昇一郎宅（上耕地）
土手内利雄宅（青生野）



予防接種の知識
ポリオ生ワクチン
二回の接種で免疫ができます

小児マヒ

ポリオ生ワクチンは、生後三か月から四八か月（できるだけ一八か月までが望ましい）の間に、二回飲みます。二回の間隔は、六週間以上離れていれば少々間があいてもかまいませんが、完全に免疫をつくるために、必ず二回飲むようにしてください。

ワクチンは甘いシロップ液になっていて、少量を小さなピペット（目盛りのついたスポイト）で飲めばよいので、嫌がって吐くことはありません。

ワクチンを飲むことによって、その中に含まれているウイルスが腸の中で増え、腸に免疫ができるのです。

腸内でウイルスが増えると、当然、大便に混ざって排せつされます。ワクチンに含まれているウイルスは毒性を弱めてありますが、排せつ物を通して人から人へ感染していく間に、強い毒性を持つようになることがあります。その結果、ごくまれに、生ワクチンを飲んでいない人が感染するというケースもあります。ですから、ポリオ生ワクチンは、みんなが一緒に飲んで、その地域全体を免疫にする集団接種の方法が採られています。

わが国では、ここ二〇年近くポリオの流行はありません。といっても安心は禁物。この状態を維持していくには、紹介したような方法、飲み方を守っていくことが大切です。

村内一斉に
清掃と道路愛護作業

鮫川村恒例の清掃と道路愛護作業が四月二九日の早朝から行われました。

この日は好天に恵まれ、村内全戸から出動して、受持区域の道路について、側溝の土砂上げ、ゴミの収集、砂利道の不陸直しなど、熱心な作業が続けられ、見ちがえるほどキレイになりました。

目で見る
青少年と家庭のしつけ

「昭和57年版青少年白書」から



最近、青少年の非行や校内暴力、家庭内暴力などの増加が、大きな社会問題となっています。これらの背景として、わたしたちを取り巻く社会環境がますます複雑になり、青少年の生活や意識にさまざまな影響を与えてきたことを挙げることができるでしょう。

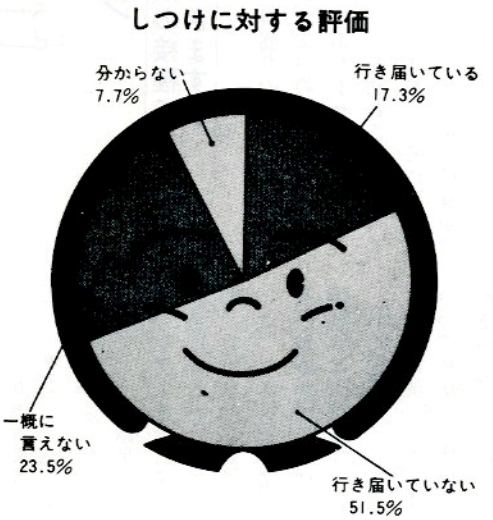
こうした社会環境の中で、家庭での子供の養育や教育はどうあるべきでしょうか――。

健全な青少年を育てるための「家庭におけるしつけ」――その実態と意識を「昭和五七年版青少年白書」（総理府）から見てみましょう。

しつけに対する評価

「青少年を健全に育てるには、幼いころのしつけや家庭教育が大切」と思う親は八四％と最も多くたいていの親は家庭教育が重要だと認識しています。しかし、社会一般の評価では、青少年の「しつけが行き届いていない」と思う人が約半数を占めています。

親は家庭での〝しつけ〟が大切とは思いつつ、なかなか手が届かないのが現状なのでしょうか。



しつけの重要性

「青少年を健全に育成するためには、幼いころの〝しつけ〟や家庭の教育が最も大切である」という意見がありますが、あなたもそう思いますか。そうは思いませんか。強いて言えば、どちらに近いですか。

そう思う　(84.0%)
そうは思わない　(2.6%)
一概に言えない　(10.7%)
分からない　(2.6%)

しつけの厳しさ

家庭でのしつけの厳しさについて見ると、〝世間並み〟と答えていない〟つもりでも、子が〝厳しい〟と答えた親は〝甘い〟と答えた親よりも多くなっています。

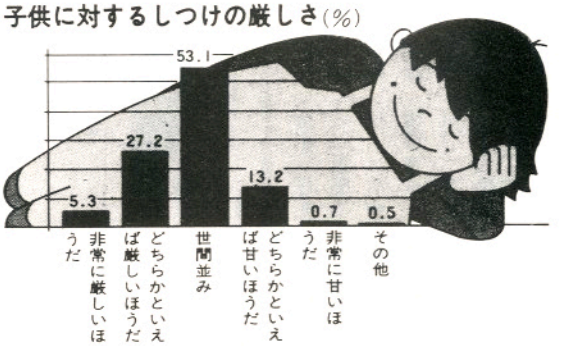
一方、「物の買い与え方」について親と子の意識を比較すると、親は〝必要以外の物は買い与えていない〟つもりでも、子供から見ると、〝どんな物でもたいていは買ってくれる〟とする割合がやや多くなっています。

親は自分で思っているよりも、実際には子供に甘い態度をとっているようです。

物の買い与え方



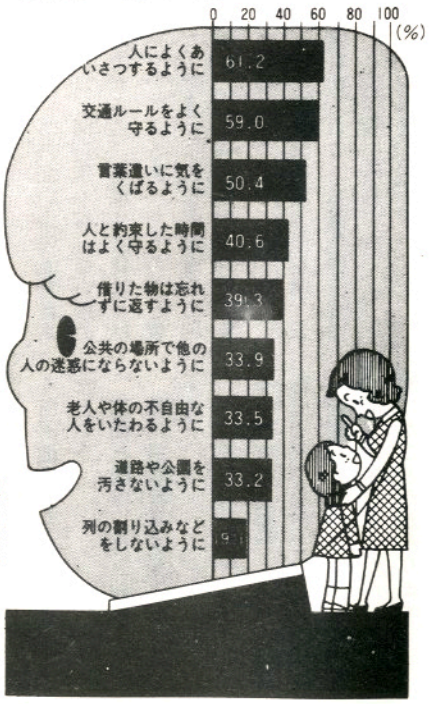
子供に対するしつけの厳しさ(%)



ふだんから言い聞かせていること

交通安全や礼儀などの身近な事柄については、よく注意がなされているようです。しかし、社会生活や公徳心に関する事柄には、あまり重点が置かれていないことがうかがえます。

ふだんから言い聞かせていること

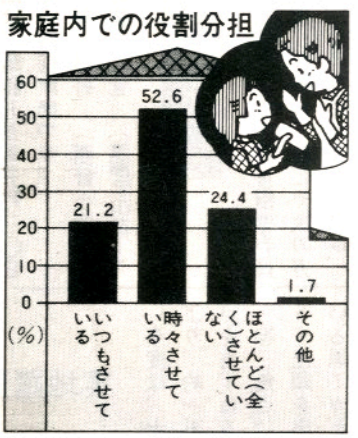


※複数回答です

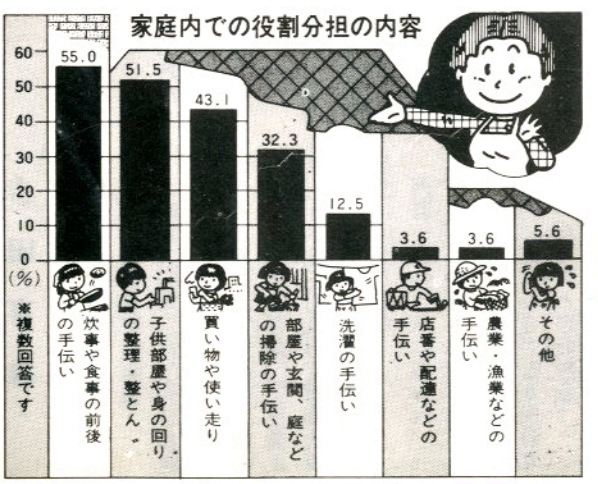
家庭内での役割分担

家庭内での役割分担について見ると、約七割の人が子供に何らかの家事や家業の手伝いをさせています。しかし、その内容は「炊事や食事の前後の整理・整とん」「子供部屋や身の回りの整理・整とん」「買い物や使い走り」など、比較的、楽なものが中心となっています。

家庭内での役割分担



家庭内での役割分担の内容



※四捨五入の関係で合計が一〇〇にならないものもあります。

公民館だより

57年度開発センター利用状況

結婚式利用は一七件

昭和五七年度の鮫川村山村開発センター施設の利用状況は次のとおりでした。

今年もお気軽に利用してください。

◀結婚式

月別	4	5	6	9	10	11	3	合計
件数	4	2	1	1	1	4	4	17
人数	927	462	172	209	145	877	971	3,763

内訳	目的 / 年度	研修会等	集会合	会議	相談検診	結婚式	その他	合計
件数	57	54 (8)	169 (144)	126 (51)	57 ( )	17 ( )	50 (4)	473 (207)
	56	13 (3)	15 (2)	144 (12)	148 ( )	22 ( )	46 (8)	288 (25)
人数	57	3,185 (173)	4,948 (2,443)	2,765 (768)	2,524 ( )	3,763 ( )	7,068 (349)	24,253 (3,733)
	56	440 (65)	4,411 (880)	5,108 (287)	2,367 ( )	4,499 ( )	5,234 (206)	22,059 (1,438)

（ ）は夜間利用　内宿泊利用３件　173人（57年度）



新しく結ばれたお二人の幸多い門出を祝福いたします。

4月
新郎　舟木　好光（岡　田、仁、二男）
新婦　太田恵美子（神奈川県、昭二、長女）
媒妁人　北条正敏　様
新郎　緑川　浩幸（真　坂、清幸、長男）
新婦　須藤ゆき子（浅川町、忠房、三女）
媒妁人　小濃継生　様
ヒデ子　様
新郎　大竹　伸克（青生野、光寿、長男）
新婦　北条久美子（岫　長、久弥、二女）
媒妁人　石田卯子八　様
末子　様
新郎　芳賀　栄（塙　町、栄郎、長男）
新婦　矢吹　洋子（横　座、広信、長女）
媒妁人　秦　太郎　様
広子　様

5月

委嘱

欠員のありました社会教育委員に、次の方が委嘱されました。任期は、昭和五九年五月三〇日までの残任期間です。

近藤　昌好（西野小学校）
芳賀　登（渡瀬字田苗下）

任命

任期満了に伴う体育指導委員の改選が行われ、新しく次の方々が任命されました。任期は、昭和五八年四月一日から昭和六〇年三月三一日までの二か年です。

▽増子久美（西野区）▽遠藤研一（西野小）▽関根正（西山区）▽荒井廷子（西山小）▽生方利夫（中野区）▽熊田賢一（鮫川小）▽前田正喜（東石区）▽湯田栄三（鮫川中）▽鷲野谷重一（富田区）▽吉田尚（富田小）▽山形郁夫（渡瀬区）▽佐藤英男（渡瀬小）▽岡部照夫（青生野区）▽面川三雄（青生野小）

実地踏査

三角点をたずねて

吉田喜雄

今度は、大塩の観音様のお堂より、約一五m高い山頂の三角点をたずねる。ここの三角点も三等三角点。地上より約一一センチ位頭を出して、埋設されている黒ミカゲ石。

この三角点は内ケ竜の三郎山の三角点と、石井草妙見山の三角点を結んだものである。

また、この三角点より四m位離れたところに、約二m余の四角のモルタル造りの建物がある。

地元の矢吹啓氏に聞くと、この建物は、いわき市高柴ダム雨量観測所の雨量計で、鮫川の降水量を電波で送致する高い塔も建っている。

また、この高い山の九合目あたりに、何百年か解らない杉の巨木がある。寒風にも負けず枯れないでよく育ったものだと驚く。参考にこの杉の目通りの円周は、約二m二五cm位のもの数本ある。

次に観音堂の境内の左側、本堂に祀られてある御仏体を表示した表示板を研修する。

表示板を写す。

鮫川村指定有形文化財
木造揚柳観音菩薩坐像

昭和五四年三月二九日指定

「大塩の観音様」として地域の人々に親しまれている仏像の台座には、仏子菩薩□□正義正和五年丙辰二月八日、檀那大麻助光と記されており、村内で最も古い仏像である。

西暦一三一六年に造られ、一八一三年に採色されている。

この仏像は、慈眼山地福院（大塩地内にあった寺）とかかわりがあったものと思われる。

檀那大麻助光は、どんな人物であったのか不明である。

「馬に霊験あり」として、遠く白河地方からも参詣者があったという。

昭和五四年三月二九日
鮫川村教育委員会と記されてある。

正和五年丙辰二月八日とは、今より六六八年前にあたる鎌倉時代です。そのころにこの仏像が彫刻されたもので、現在の大塩部落は相当古くから、文化が開けたことがわかります。

（次号につづく）

資料館図書
蔵書数四、五八四冊に！

資料館図書の図書整備が着実に進められ、三月三一日現在蔵書は四、五八四冊になりました。特に五七年度には一、六四三冊を受け入れ蔵書数を伸ばしました。（別表Ⅰ参照）

一方、図書貸出も飛躍的に伸び、八、二三〇冊を記録しました。

館内貸出が四、九四一冊、移動図書貸出（小学校児童対象・鮫小除く）が三、二八九冊で、特に八月から開設した移動図書の実績が、貸出を大きく伸ばした原因となりました。（別表Ⅱ参照）

図書整備

S.58.3.31現在　別表1

- 整備状況　1,643冊(内寄贈42冊)
  - ①児童向(幼・小)　1,262冊
  - ②成人向(中・高・一般)　381冊
- 蔵書数　4,584冊

年度	55	56	57
児童向	400	1,055	2,317
成人向	1,599	1,886	2,267
計	1,999	2,941	4,584

図書貸出実績

S.58.3.31現在　別表2

- 館内貸出　（冊）

月	4	5	6	7	8	9
児童	249	364	623	491	251	373
一般	74	72	70	98	111	101
計	323	436	693	589	362	474

10	11	12	1	2	3	計
439	201	158	239	239	327	3,954
84	61	71	80	63	102	987
523	262	229	319	302	429	4,941

- 移動図書　（冊）

月	8	9	10	11	12	1	2	計
児童	435	531	388	569	451	428	487	3,289

- 貸出総数　8,230冊

新着図書紹介

【児童生徒向】

◇平和マンガ作品集（全19巻）▽はだしのゲン（1～7巻）▽ユーカリの木の下で▽いつか見た青い空（上／下）▽黒い雨にうたれて▽ゲキの河（上／下）▽チンチン電車の詩▽あの街この街▽オキナワ▽平和の鐘シリーズ▽はだしのゲン（上／下‖英語版）◇アニメ科学百科（全9巻）▽宇宙―星々の誕生と終焉▽地球―命あふれる惑星▽生命―人間にいたる鼓動▽人体―尊厳のメカニズム▽動物植物―命あるものたちの賛歌▽エネルギー―限りある資源のレクイエム▽情報―人と環に！伝達の波動▽機械技術―科学的生産の歴史▽コンピューター―未来の展望―情報科学人間◇カラー版こどもの季節（全13巻）▽1月～12月の図鑑▽おかあさんの季節（別巻）◇なるにはブック（50巻）▽パイロットになるには▽スチュアーデスになるには▽ファッションデザイナーになるには▽探険家登山家になるには▽美容師になるには▽アナウンサーBJになるには▽マンガ家・イラストライターになるには▽船長になるには▽映画監督・TVディレクターになるには▽通訳になるには▽グラフィック工業デザイナーになるには▽医師・歯科医師になるには▽看護婦・保健婦になるには▽調理師になるには▽保母・社会福祉主事になるには▽新聞・放送記者になるには▽エンジニアになるには①▽司書学芸員になるには▽公務員になるには▽裁判官・弁護士・検事になるには▽工芸家になるには①▽外交官になるには▽コンピューター技術者になるには▽整備士になるには▽鉄道員になるには▽学術研究者になるには▽会計士・税理士・不動産鑑定士になるには▽教師になるには▽作曲家・演奏家になるには▽カメラマンになるには▽建築技術者になるには▽作家になるには▽栄養士になるには▽セールスマンになるには▽政治家になるには▽公害防止管理者・環境計量士・作業環境測定士になるには▽印刷製本技術者になるには▽美術家になるには▽弁護士・司法書士・土地家屋調査士になるには▽編集者になるには▽工芸家になるには▽貿易商社マンになるには▽漁業技術者になるには▽農業経営者になるには▽医療技術者になるには▽警察官消防官になるには▽伝統芸能家になるには▽東洋医療技術者になるには◇科学のアルバム（全20巻）▽四季のお天気かんさつ▽惑星の探険▽氷の世界▽サンゴ礁の世界▽高山植物の一年▽夏休み植物のかんさつ▽ジャガイモ▽コケの世界▽夏休み昆虫のかんさつ▽モンシロチョウ▽ヘビとトカゲ▽ネコのくらし▽森のキタキツネ▽シカのくらし▽ライオン▽野生ウマの生活▽キツツキの森▽カラスのくらし▽タンチョウの四季▽ペンギンのくらし





春の全国交通安全運動

ドライバーは 安全運転の原点に戻ろう

今年も「春の全国交通安全運動」が五月一一日から二〇日までの一〇日間実施されます。多発する事故の特徴をふまえ、次の三項目を重点に運動が展開されます。

①歩行者および自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止
②二輪車の安全利用、特に交差点での安全確認の励行とヘルメット着用の徹底
③安全運転の確保、特に交差点での安全確認の励行とシートベルトの着用の推進

この運動を契機に、ドライバーの皆さんは、もう一度、安全運転の原点に立ち返り、万全の注意を払いましょう。

ポリオ生ワクチン

二回目の接種を行います

ポリオ（小児マヒ）生ワクチンの第一回目の接種は四月に行いましたが、二回目の接種を次の日程で行いますので、近くの会場で必ず受けてください。

ただし、次に該当する方は接種できませんので注意してください。

①体温が37度以上で下痢を伴う病気にかかっている者
②医師が不適当と認める病気にかかっている者
③一か月以内にはしかの予防接種をうけた者

投与月日	会場	時間
5月25日(水)	西野生活改善センター	午後1時10分よりで1時30分まで
	西山集落センター	〃 1時40分よりで1時00分まで
	開発センター	〃 2時10分よりで2時50分まで
5月26日(木)	富田集落センター	〃 1時10分よりで1時20分まで
	鮫川農協支所	〃 1時30分よりで1時50分まで
	青生野集落センター	〃 2時10分よりで2時30分まで

個人住宅建設資金

申し込み受付中

昭和五八年度（第一回）福島県個人住宅建設資金の申し込み受付を次の要領で行います。

◇受付期間
4月26日から5月31日まで

◇融資予定戸数
五一〇戸 一〇億二千万円

◇融資内容
○利 率 年六・四二%
○融資金額 一〇〇万円以上二〇〇万円まで
○償還期間 一五年以内
○償還方法
・元利均等毎月払い
・元利均等六か月払い
・元利均等毎月払い・六か月払いの併用払

◇選定方法
申し込み者が融資予定枠を上まった場合は、抽選による。

◇申込み先
住宅金融公庫の取扱い各金融機関

◇問合せ先
福島県土木部住宅課（☎〇二四五―二一―一一一一 内二三八四、二三八五）

農繁期の火災予防

毎日乾燥した日が続き、各地に大きな火災や山火事が発生しています。これから農繁期に入りますので、火災を出さないよう十分注意して下さい。

一、仕事で家を留守にする時はもう一度火の元の安全を確かめること。
一、子供の火あそび等には特に注意すること。
一、山ではタバコの火に特に注意すること。
一、夜九時は消防の時間です。就寝前に必ず火の元の安全を確かめましょう。
一、火災は、ちょっとした注意と心がけで防ぐことができます。火の用心が大切です。

『火災ゼロ、一人ひとりの自覚から』

棚倉消防署鮫川分署

ゴミの収集日

収集コース	種別	5月	6月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	16.19.23 26.30	2.6.9.13.16 20.23.27.30
	不燃物	20	3.17
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	17.19.24 26.31	2.7.9.14.16 21.23.28.30
	不燃物	20	3.17
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	19	2.16.30
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	18	1.15.29
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	13	10
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	20	3.17

※ 休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※ ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
5月22日(日)	薄葉	中島	
29日(日)	大木	車田	
6月5日(日)	診療所	根本	
12日(日)	和田	厚生病院	
19日(日)	阿部		木村